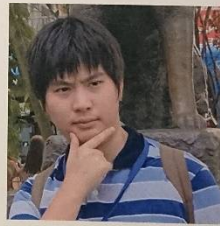


## 加地 英貴

【アトリエライブハウス】

加地英貴さんは、重度の自閉症の男性です。彼は自閉症特有のこだわりを強く持っています。彼の作品制作に使う材料は、色鉛筆と紙(木製/ネル)と非常にシンプルです。今回の100号サイズの作品を仕上げるのに色鉛筆を140本使ったこともあります。一本いっぽんの色鉛筆を最後1cmくらいの短さになるまで見事に使い切るのです。その為、時として色鉛筆の長さを揃えるために色を塗るのか、色を塗る結果として色鉛筆が短くなっていくのか分からなくなる事があります。彼にとっては塗ることと同様に、色鉛筆の長さを揃えることも大切な仕事のように思われます。しかしながら画面は単調な塗り重ねで終わることなく、力強いストロークの筆跡、膨大な時間による重厚な表面を作り上げています。塗るという行為の連続から生み出される痕跡は、鮮やかな色彩に満ちています。加地英貴さんは、今までにたくさんの個展、展覧会を催して来ました。展覧会毎にしっかりと作品を仕上げ、いつも同じレベルで作品を制作する姿勢は、プロのアーティストそのものです。



加地 英貴  
Kaji Hidenobu  
「木」  
2019年  
100号  
140本  
色鉛筆



2014年  
《蓝色》  
100cm x 100cm  
2014年



2014年  
《红色》  
100cm x 100cm  
2014年

